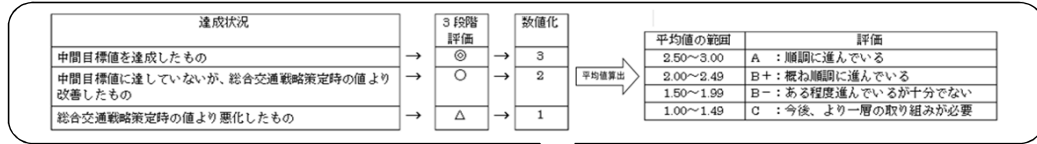


《基本目標の評価》



- 【対応欄における施策一覧】
- a: まちの骨格を形成する道路体系の確立
 - b: 徒歩圏内の移動手段の確保
 - c: 拠点駅における乗り継ぎ利便性・快適性の向上
 - d: 駅周辺のバリアフリー化
 - e: 安全で利便性の高い都市基盤の整備
 - f: 回遊性を生み出す施設誘導・公園等の整備・イベント等の開催
 - g: 歩行者の南北自由移動の確保
 - h: まちの景観資源の保全・活用
 - i: 幹線道路網(都市計画道路網)のネットワーク幅員の見直し

- j: 湖西市の骨格を形成し、活力を支援する都市計画道路未整備区間等の整備
- k: 緊急輸送路の整備
- l: 津波浸水区域内外を連絡する道路の整備
- m: 構想路線等の計画推進
- n: 道路交通安全の啓もう活動
- o: 鉄道・バスの連携強化
- p: 快適に移動できる公共交通
- q: 鉄道駅周辺のバリアフリー化
- r: 公共交通機関と道路交通の連携強化
- s: 市民協働による公共交通利用促進の意識高揚

基本目標	評価の視点	評価指標	資料・出典	総合交通戦略策定時の値	中間目標値(H28)	現況値	達成状況	3段階評価	数値化	評価(平均値)	分析と今後の対応	目標値(H32)	
【基本目標Ⅰ】 全ての人が安全・安心に生活できる交通	交通事故は減ったか	交通事故発生件数	湖西警察署資料	485件(H24)	355件	330件(H28)	中間目標値達成	◎	3	A (2.50)	(分析) ・H27年2月に交通事故多発箇所である国道1号バイパス大倉戸IC(名古屋方向)付近の車線運用の見直しを実施し、大倉戸IC出口への接続が円滑になったことにより大幅な渋滞改善がなされた。 ・追突事故の多いバイパストンネル内に注意喚起を促す看板を設置したことにより交通事故が減少した。 ・コーちゃんバスの経路及びダイヤ見直しを継続的に実施し、H28年10月にも主要3路線において乗り換えなしで、スーパーマーケットや衣料品店等にアクセスできるよう変更を行い、積極的に市民ニーズを取り入れ公共交通への満足度向上に努めている。	305件	
	交通事故を減少させる取り組みは進んだか	通学路歩道整備率	湖西市資料	55.5%(H21)	65%	58.2%(H27)	H21比較増加	○	2		(対応) ①市民協働による公共交通利用促進の意識高揚【s】 →H29年4月よりH25年4月以降に運転免許証を自主返納等をした市民に対して、2年間のコーちゃんバス・自主運行バスの無料乗車券の交付を予定。今後、運転免許証を自主返納等した市民の公共交通の利用増加が見込め、公共交通が利用しやすくなったと感じる市民の割合の増加が期待できる。	70%	
	自動車と公共交通を選択できる環境は整ったか	公共交通が利用しやすくなったと感じる市民の割合	市民意識調査 市民アンケート	18%(H21) 【出典】 市民意識調査	20%	8.8%(H27) 【出典】 市民意識調査	36%(H28) 【出典】 市民アンケート	注1) -	-	-		②駅周辺のバリアフリー化【d】 →段差解消のための歩きやすい歩道整備の推進としてH29年度以降、新所原空字線の整備に着手する予定。 ③「公共交通が利用しやすくなったと感じる市民の割合」についての分析と対応 →資料3参照	注4) 20%
【基本目標Ⅱ】 利便性の高い交通	公共交通は利用しやすくなったか	公共交通が利用しやすくなったと感じる市民の割合	市民意識調査 市民アンケート	18%(H21) 【出典】 市民意識調査	20%	8.8%(H27) 【出典】 市民意識調査	36%(H28) 【出典】 市民アンケート	注1) -	-	-	A (2.50)	(分析) ・地域公共交通利用圏域は戦略策定時から鉄道・バス等の大きな路線再編が実施されていないため横ばいとなっており、目標値には達していない。なお、市では既存の地域公共交通利用圏域内において市民がより利用しやすい公共交通網の整備のためコーちゃんバスの経路・ダイヤの見直しを実施している。 ・都市計画道路の整備は順調に進んでおり、中間目標値を達成している。	注4) 20%
	地域公共交通利用圏域	湖西市資料	注2) 91%(86%) (H25)	95%(90%)	91%(86%) (H28)	横ばい	○	2			(対応) ①「公共交通が利用しやすくなったと感じる市民の割合」についての分析と対応 →資料3参照	95%	
	都市内道路ネットワークの円滑性は向上したか	都市計画道路整備率	湖西市資料	62.0%(H24)	62%	63.7%(H27)	中間目標値達成	◎	3			②鉄道・バスの連携強化【o】 →H28年10月から11月に市民の意見を汲み取るためのグループインタビューを実施し、H29年度はコーちゃんバス利用率の低い地域や公共交通空白地域においてデマンド運行システムの導入に向けた取り組みを進めていき、今後の地域公共交通利用圏域の拡大に努める。 ③湖西市の骨格を形成し活力を支援する都市計画道路未整備区間等の整備【j】 →都市計画道路の整備推進による他都市との広域ネットワークの形成として、H29年3月に都市計画道路の変更・廃止の都市計画決定が完了したため、H29年度も継続して(都)大倉戸茶屋松線(旧(都)松山茶屋松線)の設計に必要な調査を実施する予定。	65%
【基本目標Ⅲ】 湖西市の活力を支える交通	拠点の人口は増えたか	拠点における人口動態	住民基本台帳	923人減(H24)	700人増 H21(62,784人)比	2,478人減(H29.3)	人口減少傾向	△	1	B+ (2.40)	(分析) ・観光交流客数は、リーマンショック以降の景気後退により減少傾向にあったが、H23年度以降、増加に転じ、中間目標値には達していないものの新居閑所・小松楼等の湖西市を代表する歴史的建造物の来訪者や湖見坂の道の駅の利用者数は近年増加傾向にある。 ・(新居閑所入館者数はH23年度とH27年度比で15,000人増、道の駅利用者数はH23年度とH27年度比で28,000人増) ・産業の活性化は中間目標値を達成しており計画通りに進んでいる。	1,200人増 H21(62,784人)比	
	産業は活性化されたか	1事業所当たりの製造品出荷額等の県内順位	工業統計	1位(H22)	1位	1位(H26)	中間目標値達成	◎	3		(対応) ①△評価「拠点における人口動態」についての対応と分析 →資料4参照 ②構想路線等の計画推進【m】 →都市計画道路の整備推進による他都市との広域ネットワークの形成として、H29年3月に都市計画道路の変更・廃止の都市計画決定が完了したため、H29年度も継続して(都)大倉戸茶屋松線(旧(都)松山茶屋松線)の設計に必要な調査を実施する予定。 →浜松三ヶ日・豊橋道路の事業化の早期実現のため市をあげて継続して、積極的な要望活動を実施する。 →浜名湖西岸土地地区画整理事業の推進による市内における新産業拠点の確保としてH29年度以降、現地地区化に測量等を実施する予定。	1位	
	コンパクトなまちづくりは進んだか	市街化区域内の未利用地面積	都市計画基礎調査	173.6ha(H21)	146.7ha	146.7ha(H27)	中間目標値達成	◎	3			③公共交通機関と道路交通の連携強化【r】 →観光客のニーズに合わせたコースが選択でき、ゆっくりと名所をめぐる事ができる交通手段としてドライバーのガイド付き観光タクシーの導入を実施する予定。 →市内の観光モデルルートの設定やバスツアーの検討を予定。	注4) 548億円
	観光交流は活性化したか	観光交流客数	湖西市資料	588,158人(H23)	900,000人	674,993人(H27)	H23比較増加	○	2			④まちの景観資源の保全・活用【h】 →浜名湖サイクリングロードの自転車通行空間の整備として、浜名湖観光圏の事業においてサイクリストの誘導案内看板の設置とバイシクルピットやサイクリストウェルカム宿の受入体制の充実を図り、観光交流客数の増加を図る。 →浜名湖の魅力最大化のために、エリア間を複数モード(舟・自転車・鉄道・車など)で楽しんで移動できるよう検討を進める。	注4) 763,000人
【基本目標Ⅳ】 環境にやさしい交通	環境は改善されたか	運輸部門のCO ₂ の排出量	湖西市資料	注3) 101.5千t(H22)	注3) 98.3千t(H19比2.7%削減)	注3) 95.9千t(H25)	中間目標値達成	◎	3	A (2.67)	(分析) ・本戦略策定時と比較し、環境に関する改善が進んでいるものの、目標値に達していない指標もあり、継続して事業を推進する必要がある。	注3) 96.5千t(H19比4.5%削減)	
	市民の環境への取り組みは進んだか	環境に対する意識が高まっていると感じる市民	市民意識調査	8.1%(H21)	30%	8.5%(H27)	H21比較増加	○	2		(対応) ①市民共同による公共交通利用促進の意識高揚【s】 →環境にやさしいエネルギー普及事業として引き続き、低公害車導入補助を実施する。市民や市内の企業に対しても環境に対する意識向上のための啓発活動を積極的に実施する。	注4) 30%	
	エコアクション21認証取得事業者数	湖西市資料	15社(H24)	18社	18社(H27)	中間目標値達成	◎	3			②公共交通機関と道路交通の連携強化【r】 →C&R(R&C)・P&R推進。H29年度に新所原駅の南北駐輪場の整備が完了し供用が開始されることで、さらに市内における自転車利用が活性化されることが期待できる。また、継続して公共駐車場を活用したP&Rを推進する。 →H29年度に策定予定の公共交通網形成計画の中でモビリティ・マネジメントを実施し、対象区域内の市民に対し公共交通に対する意識を変えるための動機付け資料を配布し、公共交通利用促進を図り、資料配布後にアンケートを実施することで効果の検証を実施する予定。 ③まちの景観資源の保全・活用【h】 →風致地区内における建築等において基準に基づく指導を行うことにより、都市内の自然美と緑豊かな生活環境の維持と保存に努める。	注5) 25社	

注1): H29年度の市民意識調査結果にて改めて評価を実施する予定。

注2): 評価指標「地域公共交通利用圏域」について、戦略策定時直近現況値(=91%、H25)は、湖西市公共交通基本計画(H24.3策定)における計画見込値。(実際のコーちゃんバス運行開始時(H25.4運行開始)の実測値は、直近現況値(=86%、H25)である。)

注3): 算出方法が変更となった。算出方法変更に伴い中間目標値及び目標値(H32)も変更となった。

注4): 総合計画見直しにより目標値が変更となった。

注5): 環境基本計画見直しにより目標値が変更となった。

基本目標 評価 A(2.52)